



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 富士重工業株式会社

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	898,020	37.1	43,257	130.6	45,287	110.0	40,440	23.5
24年3月期第2四半期	655,023	△18.5	18,760	△67.3	21,563	△63.3	32,753	△26.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 30,592百万円 (28.9%) 24年3月期第2四半期 23,726百万円 (△13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	51.82	—
24年3月期第2四半期	41.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,395,128	478,683	34.2
24年3月期	1,352,532	451,607	33.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 477,333百万円 24年3月期 450,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,840,000	21.3	82,000	86.5	81,000	117.3	67,000	74.2	85.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	782,865,873 株	24年3月期	782,865,873 株
25年3月期2Q	2,409,738 株	24年3月期	2,406,736 株
25年3月期2Q	780,458,527 株	24年3月期2Q	780,346,923 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

< 添付資料 目次 >

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(7) その他注記情報.....	11
(8) セグメント情報等.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、自動車売上台数の増加などにより、8,980億円と前年同期比2,430億円（37.1%）の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が433億円と前年同期比245億円（130.6%）の増益となり、経常利益につきましても、453億円と前年同期比237億円（110.0%）の増益となりました。また、四半期純利益につきましては、404億円と前年同期比77億円（23.5%）の増益となりました。

[セグメントの状況]

第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

国内におけるスバルの登録車販売は、昨年度下期の発売以来好調に推移する「インプレッサ」、「SUBARU BRZ」が第2四半期累計期間を通して寄与したことや、5月に直噴ターボエンジンを搭載するなどの一部改良を行った「レガシィ」が台数の上積みにより、売上台数は45千台と前年同期比10千台（26.6%）の増加となりました。

一方、軽自動車につきましては、乗用系車種が堅調に推移するものの、商用系車種による落ち込みをカバーできず、売上台数は27千台と前年同期比10千台（27.6%）の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は72千台と前年同期比1千台（0.8%）の減少となりました。

海外につきましては、「インプレッサ」を中心として販売が好調に推移したことに加え、震災影響から回復したことなどにより、全地域で前年同期の売上台数を上回りました。

地域別の売上台数は、北米で181千台と前年同期比52千台（40.9%）の増加、ロシアを含む欧州で36千台と前年同期比16千台（81.1%）の増加、豪州で22千台と前年同期比6千台（34.6%）の増加、中国で27千台と前年同期比8千台（40.8%）の増加、その他地域で11千台と前年同期比1千台（9.9%）の増加となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は276千台と前年同期比83千台（43.0%）の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は348千台と前年同期比82千台（31.0%）の増加となり、全体の売上高は、8,304億円と前年同期比2,361億円（39.7%）の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、397億円と前年同期比226億円（132.8%）の増益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、多用途ヘリコプター「UH-1J」の契約終了等により売上高は前年同期を下回りました。

一方、民間向け製品では、「ボーイング777」、「ボーイング787」の売上が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は417億円と前年同期比42億円（11.4%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、19億円と前年同期比9億円（85.7%）の増益となりました。

③産業機器事業部門

震災復興需要に一服感のある国内向けエンジンや発電機の販売が減少したことなどにより、売上高は163億円と前年同期比11億円（6.2%）の減収となりました。セグメント利益につきましては、売上構成の改善などにより、4億円と前年同期比1億円（56.4%）の増益となりました。

④その他事業部門

風力発電事業を株式会社日立製作所へ事業譲渡したことに加え、塵芥収集車「フジマイティ」の売上台数が前年同期に対し増加したことなどにより、売上高は96億円と前年同期比37億円（62.6%）の増収となりました。セグメント利益につきましても、10億円と前年同期比7億円（184.3%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1兆3,951億円と前期末に比べ426億円の増加となりました。主な要因は、新たに海外の販売子会社を連結範囲に含めたことによる資産の増加があったことなどです。

負債につきましては、9,164億円と前期末に比べ155億円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が154億円増加したことなどです。

純資産につきましては、4,787億円と前期末に比べ271億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が369億円増加したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,192億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,103億円（前年同四半期連結累計期間は92億円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を459億円計上したことに加え、仕入債務の増加156億円、売上債権の減少140億円があったことなどです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は324億円（前年同四半期連結累計期間は140億円の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）248億円などです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は327億円（前年同四半期連結累計期間は522億円の増加）となりました。主な要因は、社債の償還による支出（発行による収入との純額）100億円に加え、短期借入金の減少139億円があったことなどです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表した予想に対し、中国および欧州市場における自動車販売台数は減少するものの、売上構成等の改善が見込まれるため、下記のとおり修正させていただきます。

なお、通期の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル79円（前回公表80円）、1ユーロ102円（前回公表99円）となっております。また、下期の為替レートは1米ドル78円、1ユーロ100円としております。

平成25年3月期通期連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,860,000	67,000	63,000	48,000	61.50
今回修正予想(B)	1,840,000	82,000	81,000	67,000	85.85
増減額(B-A)	△20,000	15,000	18,000	19,000	
増減率(%)	△1.1	22.4	28.6	39.6	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	1,517,105	43,959	37,277	38,453	49.27

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	237,614	196,181
受取手形及び売掛金	117,062	108,263
リース投資資産	21,865	21,305
有価証券	31,635	140,556
商品及び製品	121,686	114,097
仕掛品	56,143	55,463
原材料及び貯蔵品	33,715	33,767
繰延税金資産	17,399	19,583
短期貸付金	78,788	77,555
その他	48,019	41,943
貸倒引当金	△1,395	△1,514
流動資産合計	762,531	807,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,359	111,967
機械装置及び運搬具（純額）	99,222	100,430
土地	171,920	172,382
賃貸用車両及び器具（純額）	12,361	16,715
建設仮勘定	12,023	17,652
その他（純額）	17,206	17,166
有形固定資産合計	426,091	436,312
無形固定資産		
その他	11,818	12,511
無形固定資産合計	11,818	12,511
投資その他の資産		
投資有価証券	77,714	69,400
繰延税金資産	1,873	3,841
その他	76,089	69,436
貸倒引当金	△3,584	△3,571
投資その他の資産合計	152,092	139,106
固定資産合計	590,001	587,929
資産合計	1,352,532	1,395,128

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,043	266,414
短期借入金	71,040	74,909
1年内返済予定の長期借入金	23,786	22,619
1年内償還予定の社債	20,010	10
未払法人税等	4,600	4,810
未払費用	69,437	68,270
賞与引当金	16,478	16,595
製品保証引当金	28,861	28,747
工事損失引当金	2,841	3,374
事業譲渡損失引当金	4,177	2,962
その他	69,362	83,693
流動負債合計	561,635	572,403
固定負債		
社債	4,070	14,065
長期借入金	222,074	218,510
繰延税金負債	22,740	20,866
退職給付引当金	33,950	34,197
役員退職慰労引当金	469	421
その他	55,987	55,983
固定負債合計	339,290	344,042
負債合計	900,925	916,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	188,538	225,465
自己株式	△1,259	△1,261
株主資本合計	501,145	538,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,966	16,713
為替換算調整勘定	△69,809	△77,450
その他の包括利益累計額合計	△50,843	△60,737
少数株主持分	1,305	1,350
純資産合計	451,607	478,683
負債純資産合計	1,352,532	1,395,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	655,023	898,020
売上原価	523,544	719,675
売上総利益	131,479	178,345
販売費及び一般管理費	112,719	135,088
営業利益	18,760	43,257
営業外収益		
受取利息	531	649
受取配当金	382	479
持分法による投資利益	453	71
不動産賃貸料	263	302
デリバティブ評価益	5,710	8,510
その他	1,212	213
営業外収益合計	8,551	10,224
営業外費用		
支払利息	1,921	1,766
為替差損	1,341	5,115
その他	2,486	1,313
営業外費用合計	5,748	8,194
経常利益	21,563	45,287
特別利益		
固定資産売却益	26,455	432
投資有価証券売却益	526	355
国庫補助金	—	1,725
貸付債権譲渡益	—	325
その他	114	712
特別利益合計	27,095	3,549
特別損失		
固定資産除売却損	638	768
減損損失	63	36
災害による損失	7,257	—
固定資産圧縮損	—	1,725
その他	513	417
特別損失合計	8,471	2,946
税金等調整前四半期純利益	40,187	45,890
法人税等合計	7,394	5,404
少数株主損益調整前四半期純利益	32,793	40,486
少数株主利益	40	46
四半期純利益	32,753	40,440

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,793	40,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△914	△2,253
為替換算調整勘定	△8,224	△7,648
持分法適用会社に対する持分相当額	71	7
その他の包括利益合計	△9,067	△9,894
四半期包括利益	23,726	30,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,688	30,546
少数株主に係る四半期包括利益	38	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,187	45,890
減価償却費	27,810	27,717
減損損失	63	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	67
製品保証引当金の増減額(△は減少)	86	535
工事損失引当金の増減額(△は減少)	402	533
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△179	94
受取利息及び受取配当金	△913	△1,128
支払利息	1,921	1,766
デリバティブ評価損益(△は益)	△5,710	△8,510
持分法による投資損益(△は益)	△453	△71
固定資産除売却損益(△は益)	△25,817	336
売上債権の増減額(△は増加)	△23,667	13,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,877	5,974
仕入債務の増減額(△は減少)	9,393	15,633
リース投資資産の増減額(△は増加)	1,125	560
営業貸付金の増減額(△は増加)	△5,906	1,806
賃貸用車両及び器具の増減額(△は増加)	3,148	△6,282
預り金の増減額(△は減少)	△570	5,873
その他	△3,833	13,600
小計	△1,849	118,408
利息及び配当金の受取額	1,116	1,148
利息の支払額	△1,847	△1,867
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,662	△7,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,242	110,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,527	△4,409
有価証券の売却による収入	1,973	1,712
有形固定資産の取得による支出	△20,632	△26,363
有形固定資産の売却による収入	34,111	1,520
無形固定資産の取得による支出	△1,236	△2,196
投資有価証券の取得による支出	△8,491	△7,047
投資有価証券の売却による収入	7,432	6,577
貸付けによる支出	△38,850	△45,481
貸付金の回収による収入	41,578	44,791
その他	1,594	△1,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,952	△32,434

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,074	△13,928
長期借入れによる収入	77,020	893
長期借入金の返済による支出	△6,146	△5,665
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△20,005	△20,005
配当金の支払額	△3,512	△3,501
その他	△272	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,159	△32,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,302	△5,340
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	51,567	39,839
現金及び現金同等物の期首残高	227,704	258,084
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	32	21,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	279,303	319,243

（4）継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

（5）連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（連結の範囲の変更）

スバル オブ チャイナ LTD. 他3社は、重要性が増したことにより、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（持分法適用の範囲の変更）

スバル オブ チャイナ LTD. 他1社は、重要性が増したことにより、第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から連結の範囲に変更しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

（7）その他注記情報

（四半期連結損益計算書関係）

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（特別利益）

固定資産売却益のうち、26,143百万円は当社と当社の連結子会社であるスバル興産株式会社が新宿スバルビルおよび同敷地を小田急電鉄株式会社に売却したことによるものであります。

（特別損失）

災害による損失は東日本大震災によるものであり、主に操業等低下分の固定費用であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（特別利益）

その他特別利益のうち、680百万円は航空宇宙事業において過年度にその他特別損失（たな卸資産評価損）を計上したたな卸資産の売却に伴う戻入等であります。

(8) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	594,314	37,436	17,341	649,091	5,932	655,023	—	655,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,268	—	50	1,318	6,039	7,357	△7,357	—
計	595,582	37,436	17,391	650,409	11,971	662,380	△7,357	655,023
セグメント利益	17,050	1,014	250	18,314	369	18,683	77	18,760

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	830,425	41,685	16,264	888,374	9,646	898,020	—	898,020
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,572	—	20	1,592	7,147	8,739	△8,739	—
計	831,997	41,685	16,284	889,966	16,793	906,759	△8,739	898,020
セグメント利益	39,694	1,883	391	41,968	1,049	43,017	240	43,257

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

〈 2013年3月期 第2四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

	2012年3月期 第2四半期累計期間 (2011. 4. 1~2011. 9. 30)	2013年3月期 第2四半期累計期間 (2012. 4. 1~2012. 9. 30)			2012年3月期 通期実績 (2011. 4. 1~2012. 3. 31)	2013年3月期 通期予想 (2012. 4. 1~2013. 3. 31)			2013年3月期 前回通期予想 (2012. 4. 1~2013. 3. 31)
		増減	増減率	増減		増減率			
売上高	6,550	8,980	2,430	37.1	15,171	18,400	3,229	21.3	18,600
国内	2,245	3,098	853	38.0	4,985	6,570	1,586	31.8	6,278
海外	4,305	5,883	1,577	36.6	10,186	11,830	1,643	16.1	12,322
営業利益	188	433	245	130.6	440	820	380	86.5	670
利益率	2.9	4.8			2.9	4.5			3.6
経常利益	216	453	237	110.0	373	810	437	117.3	630
利益率	3.3	5.0			2.5	4.4			3.4
当期純利益	328	404	77	23.5	385	670	285	74.2	480
利益率	5.0	4.5			2.5	3.6			2.6
営業利益増減要因		売上構成差等	596			売上構成差等	832		
		原価低減等	144			原価低減等	274		
		諸経費等増	△ 432			諸経費等増	△ 637		
		為替レート差	△ 43			為替レート差	△ 70		
		試験研究費増	△ 20			試験研究費増	△ 19		
為替レート	80円/US\$ 114円/EURO	80円/US\$ 103円/EURO			79円/US\$ 108円/EURO	79円/US\$ 102円/EURO			80円/US\$ 99円/EURO
設備投資	276	339			543	720			720
減価償却費	254	247			537	600			600
試験研究費	229	249			481	500			530
有利子負債残高	3,866	3,301			3,410	3,300			3,300
業績評価		売上高過去最高 2期ぶりの増収 2期ぶりの当期純利益増益				売上高過去最高 2期ぶりの増収 当期純利益過去最高			
日本売上台数	73	72	△ 1	△ 0.8	172	160	△ 12	△ 7.0	145
登録車	36	45	10	26.6	80	108	28	34.9	95
軽自動車	37	27	△ 10	△ 27.6	92	52	△ 40	△ 43.4	51
海外売上台数	193	276	83	43.0	468	554	87	18.5	575
北米	128	181	52	40.9	309	382	74	23.9	356
欧州	20	36	16	81.1	55	66	11	20.6	82
中国	19	27	8	40.8	48	40	△ 8	△ 16.6	62
その他	26	33	7	25.4	56	65	10	17.4	75
連結売上台数総計	266	348	82	31.0	640	714	75	11.7	721
生産台数合計	247	360	113	45.9	639	768	130	20.3	768
日本	178	273	95	53.1	468	592	124	26.5	598
米国	69	87	19	27.3	171	176	6	3.2	169
売上高 事業別	自動車 5,943 航空宇宙 374 産業機器 173 その他 59	8,304	2,361	39.7	13,891				
営業利益 事業別	自動車 171 航空宇宙 10 産業機器 3 その他 4 消去・全社 1	397	226	132.8	394				

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（百台以下を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2012年10月30日

富士重工業 2013年3月期 第2四半期連結業績の概要

<2013年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>

スバル車の海外販売は、前年同期が震災影響による減産で低水準であったことに加え、インプレッサ等の販売が好調に推移したことから全ての市場で前年を上回り、前年同期比43.0%増の276千台と大きく伸長しました。スバル車の国内販売は、登録車の販売が前年を上回りましたが、軽自動車の前年を下回ったことから同0.8%減の72千台となりました。全世界合計の販売台数は、第2四半期累計期間として過去最高*となる同31.0%増の348千台となり、この結果、連結売上高は第2四半期累計期間として過去最高*となる同37.1%増の8,980億円となりました。

* 連結第2四半期累計期間決算の開示を始めた2001年3月期以降の過去最高

<2013年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

第2四半期累計期間の連結損益は、新型車導入等により販管費や製造固定費などの諸経費が増えたものの、売上構成等の改善により、営業利益は前年同期比130.6%増となる433億円となりました。経常利益は同110.0%増の453億円、当期純利益は同23.5%増の404億円となりました。

<2013年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回見通しに対して上期の台数減、および下期の為替の円高による影響を見込み、売上高予想値を1兆8,400億円へ下方修正します。各利益段階では、売上構成等の改善を見込み予想値をそれぞれ上方修正し、営業利益は820億円、経常利益は810億円、当期純利益は670億円とします。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥79/US\$、¥102/EUROです。

第2四半期累計期間業績ならびに通期連結業績見通しを踏まえ、第2四半期末の1株当たりの配当を前回予想から50銭増配の5円00銭、期末の1株当たりの配当予想も同じく前回予想から50銭増配の5円00銭といたします。この結果、1株あたりの年間配当金は、1円00銭増配の10円00銭となる予定です。

※通期連結業績見通し（2012年8月3日公表）

売上高1兆8,600億円、営業利益670億円、経常利益630億円、当期純利益480億円、
想定為替レート¥80/US\$、¥99/EURO

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。